

岐阜大学生に支援金

実施日：2020年08月21日

新型コロナウイルスの影響で、アルバイトなどがしにくくなり、生活に困っている学生を対象に支援金を送りました。(10名×5万円)

岐阜新聞 2020年8月14日

岐阜南L.Cが岐阜大留学生に支援金

コロナ禍学びに安心を

岐阜南L.Cは11日、岐阜大にある留学生向けに支援金を送った。

大島会長から支援金を受け取るフィン・ミン・ティンさん。岐阜市の岐阜大で

岐阜南L.Cは同大の留学生に対して毎年、三入分の奨学金(計三十万円)を贈ってきた。今年はコロナの影響でアルバイトなどがしにくくなり、生活に困っている学生が多くなっていることを受け、支援金として計五十万円を準備した。同大の留学生は五月一日現在で三十二万円の二百三十二人。今回は急がなかった中から、大卒が特に困っていると判断した私立留學生十八人とそれぞれ五万円を贈った。

贈呈式では、岐阜南L.Cの大島恵子会長(左)が「微力ではあるが、役に立ててもらえればうれしい」とあいさつ。受け取った、ベトナム出身で工学部四年生のフィン・ミン・ティンさん(右)は「コロナの影響で飲食店のアルバイトがなくなり、苦しい生活が続いているという。「助かる、安心して学び続けることができる」と感謝していた。」(山川麻穂色)

生活苦の留学生を岐阜南L.Cが支援 計50万円贈る

岐阜南L.Cは11日、新型コロナウイルスの影響で生活苦の留学生を支援金として、岐阜大(岐阜市穂)の留学生10人に計50万円を贈った。

同L.Cは同大の留学生3人を対象に奨学金を毎年贈る。今年は、コロナ禍で留學生のアルバイト時間が減

少し生活に困っていることから、支給対象を10人に拡大し、1人当たり5万円を奨学金として贈ることにした。

同大であった贈呈式で、大島恵子会長が留学生らを前に「研究や生活に役に立てほしい」と話し、支援金を手渡した。ベトナムからの留學生の工学部4年生のフィン・ミン・ティンさん(右)は「生活に不安を抱えていたが、支援をいただき嬉しく思っています」と話した。

支援金を受け取った留學生ら。岐阜市穂戸、岐阜大